

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

Purpose

先見性と洞察力でテクノロジーの持つ可能性を引き出し、持続可能な社会を創出する

売上収益
4,400億円調整後営業利益率
11.0%ROE
17.0%以上配当性向
40.0%以上

② 中長期の経営戦略

1. コア事業強化

ファイナンシャル、リテール、エネルギー、モビリティ、OTインフラの5領域に経営資源を集中。サービス型ビジネス拡大と生成AI等の技術活用で生産性向上

3. 経営資源の強化

人財戦略、技術戦略、財務・投資戦略を推進。研究開発投資、オープンイノベーション投資、M&Aによる戦略的投資を実施

2. 成長事業開発

市場開発、事業開発、グローバルの3領域で新収益基盤を確立。クラウドマネジメント、SX/GX事業、スマートライフ等を展開

4. グループ経営基盤強化

コーポレート・ガバナンス体制強化、内部統制システムの継続改善、コンプライアンス意識の浸透で企業価値最大化

③ 対処すべき課題

① デジタル化への対応

- 顧客ニーズの高度化・多様化に応える
- 異業種参入による競争激化への対抗
- 不確実性の高い事業環境での持続的成長

② サステナビリティ推進

- サステナビリティ委員会等による体制強化
- ゼロエミッション社会実現に向けた環境貢献
- バリューチェーン全体での安心・安全な製品・サービス提供

③ 人財・ガバナンス強化

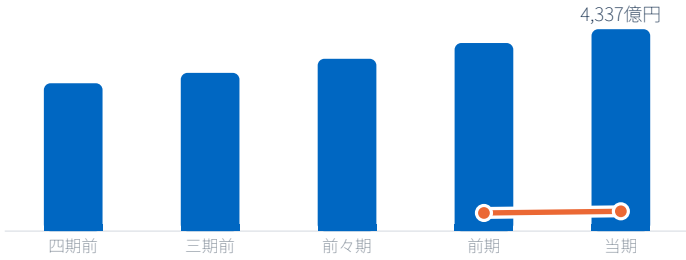
- ビジネスと技術をリードできる人財の増強
- ダイバーシティ&インクルージョンの進化
- グループ会社増加と事業多様化に対応したリスクマネジメント

面接で使えるポイント

- 2027年3月期に売上4,400億円、ROE17.0%以上を目指し、社会的価値創出企業への変革を推進
- Purpose『先見性と洞察力でテクノロジーの持つ可能性を引き出す』のもと、5つの注力領域に経営資源を集中投下
- ビジネスエコシステムと生成AI等技術活用で、気候変動や地域創生等の社会課題解決に取り組む企業

証券コード 8056

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,337億円営業利益率
9.8%財務健康度
66点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 65.4（当サイト算出の参考指標）

要するに

1951年設立の情報通信サービス企業で、東京都豊洲に本社を置く上場企業（プライム

主力事業・セグメント

- Systemサービス 33.5%
- Outsourcing 23.1%
- Hardware 17.9%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高4,337億円の事業規模
- 営業利益率9.8%の安定した収益性
- 将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収
885万円

情報・通信業内 57位/592社

平均年齢
46.3歳

情報・通信業内 40位/593社

平均勤続
20.4年

情報・通信業内 6位/593社

女性管理職
13.7%

情報・通信業内 187位/373社

男性育休
68.1%

情報・通信業内 224位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

